

知って応援。伝えて応援。 /

アップデート ふくしま

パネルディスカッション

参加
無料

2018年2月10日(土) 13:00~17:00(開場12:30)

国連大学(東京都渋谷区神宮前5-53-70)ウ・タント国際会議場

プログラム

- 第一章 福島の今を考える ~理論編~
- 第二章 福島の今がどのように伝わっているか ~事例編~
- 第三章 知って応援。伝えて応援。~総括編~



早野龍五 | 東京大学名誉教授

東京電力福島第一原発の事故後、情報が錯綜する中で、ただ事実を分析し、発信し続けた物理学者。以来、学校給食の陰謀(かげぜん)調査や子どもたちの内部被ばく測定装置開発など、誠実な計測と分析を重ね、国内外に発表。



ウィリアム・マクマイケル | 福島大学 経済経営学類 国際地域経済専攻 助教

カナダのバンクーバー出身。東日本大震災前から福島に住み、震災後も帰国せず、福島の情報と海外に向けて積極的に発信するとともに、被災地域を見学するスタディーツアーを行なうなど被災地の復興に取り組んでいる。



越智小枝 | 東京慈恵会医科大学 臨床検査医学講座 講師

東京医科歯科大学医学部卒業後、公衆衛生に興味を持つ。インベリアルカレッジ・ロンドン公衆衛生大学院への留学決定直後、東京で東日本大震災を経験。相馬市の仮設診療などの活動を手伝いつつ世界保健機関(WHO)やパブリックヘルスイングランドで研修を積んだ後、2013年から2017年まで相馬中央病院勤務。



開沼博 | 立命館大学 衣笠総合研究機構 准教授

福島県いわき市生まれ。10年以上にわたり福島と原発についての社会的な研究を進め、3.11後はフィールドワークとデータ分析をもとに福島の復興の現状と可能性を調査。「はじめての福島学」「福島第一原発廃炉困難」などの著書を刊行するとともにテレビ・ラジオ・新聞・雑誌等で一般向けの情報発信を続けている。

お申し込み

参加を希望される方は、①~④を記入のうえ

アップデートふくしま事務局の電子メールinfo@update-fukushima.jpまで送信してください。

- ①件名「アップデートふくしま」
- ②氏名
- ③お住まいの都道府県
- ④職業

- 一般参加募集:200席(先着順となります)
- 申し込み期限:2018年2月6日(火)
- 申し込み先・問い合わせ先:アップデートふくしま事務局 (info@update-fukushima.jp)

ホームページにあるフォームからお申し込みいただけます。

詳細は、

アップデートふくしまHP

Facebook



本イベントは、個人情報保護関連法令に基づき、個人情報の保護を行います。個人情報を目的外利用すること及び、第三者に提供することは一切ありません。

主催:アップデートふくしま実行委員会 共催:環境省、国連大学 後援(予定):内閣府、復興庁、外務省、福島県、福島県教育委員会、ONEふくしま(福島民報社、福島民友新聞社、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM)
協力:福島県立福島高等学校、福島県立ふたば未来学園高等学校、Discovery Networks Asia-Pacific